

泥だらけで熱戦

渡嘉敷小



屋部小5年生も参加

【渡嘉敷】田んぼの運動会「第10回どろんどろんピック」(渡嘉敷村商工観光課主催)が6月29日、渡嘉敷区内の大谷辻原の水田で3年ぶりに開かれた。

田んぼの運動会に笑顔

も楽しかった。またやりたい」と話し、座間味秀

吉君(渡嘉敷小6)は「思ったより走れた」と満足げだった。企画した村商工観光課の當山清哉さん(34)は「當山清林さん(74)が提供した。」「水田を生かした渡嘉敷ならではの取り組み。良さを今後もアピールしていきたい」と語った。運動會用の水田は稲作農家の

今回は特別企画として渡嘉敷小学校(三浦浩一校長)全児童・教員と県の沖繩離島体験交流促進事業で島を訪れた名護市立屋部小学校(石野榮伸校長)5年生58人と引率教員が参加する合同運動会となった。

田んぼの運動会は初体験という両校の児童らは、混成チームを組み、リレー競走、ソリレース、綱引きなど、泥に足をとられ泥まみれになって競技に熱中、島の自然を素肌で感じた。

渡口龍君(屋部小5)は「足が田んぼにはまり速く走れなかった。とて

泥まみれになって田んぼの運動会「どろんどろんピック」を楽しむ渡嘉敷小、屋部小の児童ら。6月29日、渡嘉敷区内の水田